

私たちの道

—— MC WAY を感じる ——

～ 再生企業の伴走者として心掛けたいこと ～

1. 再生案件の現場で感じること

- ・ここ数年の再生企業の共通点として、本業不振と、粉飾決算が顕著である点を感じる。
- ・そうした企業は、いわば「漂流している会社」となっている訳であるが、その原因を、「MCWAY Message 漂流している会社を先導する」を参考に、自分なりに考察すれば以下のとおりと考える。

現在地を見失っている	<ul style="list-style-type: none">・粉飾決算がひどすぎて、経営者自身も「現在地」を正しく測定できていない、若しくは目を背けている。・現状における「障害物」を、外部環境という他責で片付け、思考停止している。
目的地を見失っている	<ul style="list-style-type: none">・目先の事柄にとらわれ、経営者自身も目的地を見失っている。・目的地を見失った自覚があっても、軌道修正ができていない。放棄している。・上記の結果、従業員と「方向」を共有できていない。
動力を失っている	<ul style="list-style-type: none">・経営者と従業員が「方向」を共有できず、結果も出ていないため、経営者の求心力が低下し、社内批評家が多くなる。・経営者の示す方針が、場当たりのな対処と理解され(あるいは、場当たりのなもので)、従業員が疲弊している。

2. 伴走者として心掛けたいこと

- ・改めて上記のような整理をすると、再生企業の伴走者となるには、以下の心掛けが必要と感じる。
- ・事実を定量化し、経営者と共に正しく「現在地」を見つめること。
(... 粉飾を隠し続ける経営者は、本気で再生には取り組まず、いつまでも他責に逃げる。)
- ・目的地について、じっくり経営者と話し合うこと。
(... 再生の成功には、経営者自身が何のための事業であり、再生であるかを、自問することが不可欠である。その相談相手になりうるのは、我々以外にはいないという自覚が必要。)
- ・経営者以外のキーマンとの接触回数も多くもつ
(... 多くの場合、経営者と従業員には距離が生じている。間に入って両者の距離を縮める存在が必要なことは多い。)